

城かべ 古代漆喰 外装用



古代の建築物に使われてきた漆喰を再現しました。

油が添加されているため、外装用として使用できます。

- 従来の既調合しつুকいと異なる、全く新しいタイプのしつুকいです。
- 完全な無機質材料で変質劣化せず、保存期間は無制限。
- 油は添加済みで、そのまま外部に使用できます。
- 練り状なので、現場での面倒な作業は一切不要。

商品概要

①品名	城かべ古代漆喰 外装用
②性状	白色ペースト状
③主原料	消石灰、植物繊維、植物油、その他
④荷姿	20kg ポリ袋
⑤用途	壁上塗り
⑥用法	混練不要 コテ塗り
⑦塗面積	10㎡(3坪)/1.5mm

城かべ 古代漆喰 外装用

施工要領

1. 混練

- ① 開封する前に袋の上から軽く踏みほぐしておきます。
- ② 袋から直接コテ板に取り出してお使い下さい。多く使用される場合・水と分離している場合は容器に移して練ると良いでしょう。
- ③ ボンド等は、添加後改めて良く練りなめて下さい。
- ④ ご使用後の、残りの材料は袋の口を縛っておけば、いつまでも保存が可能です。
- ⑤ 固いときは少量の水を加えて下さい。

2. 下地処理

- ① 左官下地は完全に養生、乾燥させて、ボード類は目地処理をしておきます。
- ② 表面をきれいに清掃し、シーラー引きをして下さい。
- ③ 完全な仕上にするには、城かべ中塗用で下塗りを行ない、上塗り用で仕上げして下さい。

3. 塗り付け

- ① 最初は下地に食い込むようによくこすりつけ、2回目では厚みを揃えます。
- ② 表面が半乾きの状態で金ゴテで押さえていきます。コテ押さえの回数で壁の硬度と耐久性が決まりますので、少なくとも2～3回は丁寧に押さえてください。
- ③ 仕上がり後適当な通風をして徐々に乾燥させます。

※ 磨き仕上げ

- ① 金ゴテで充分押えた後、プラスチックゴテでまんべんなくこすって下さい。

試験項目 (試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904,6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウェザーメーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃~80℃ 10サイクル)
合格	25.0	2.8kgf/cm ²	異常無し	異常無し

施工上の注意

- ① 油が添加されていますので、そのまま外部に使用いただけません。
- ② 土中塗や付着しにくい下地には必ずシーラー引きを施してください。
- ③ コテ押さえはなるべく金ゴテを使用して、プラスチックゴテは磨きだけにしてください。
- ④ 乾燥するまでは汚れを吸いやすいので、ほこりや水跳ねに注意してください。
- ⑤ 冬期は白華が出やすいのでなるべく保温をし、5℃以下の場合施工を避けて下さい。

製造



田川産業株式会社

〒826-0041 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484